

2015年9月3日

於：神戸大学

瀧川記念学術交流会館

多文化社会学部のカリキュラムと アクティブラーニングの位置

長崎大学多文化社会学部

葉柳和則

本日のトピック

- 長崎大学多文化社会学部のカリキュラム
- アクティブラーニングの位置づけ
- アクティブラーニングの事例

多文化社会学部の概要

- 2014年4月設置

- 学生定員：100人

オランダ特別コース(10人)+一般（グローバル社会・社会動態・共生文化コース:90人）

- 専任教員：31人

- 分野：人文社会系の学際学部

- 理念：多文化の共生と協働が求められる現代世界において、様々な分野で国際的に活躍できる人文社会系グローバル人材を育成する。

教育目標

- 高度の英語力を有し、グローバル化する世界において、英語でコミュニケーションやプレゼンテーションができる。
- グローバル化する世界の多文化状況に関する知識を有し、文化的多様性の意義を理解できる。
- グローバル化する世界において、人々と共生的な関係を築き、問題解決に向けてパートナーシップやリーダーシップを発揮して行動できる。

1. 前期日程

- センター試験(4教科4科目)300点

外国語の得点率が80%以上の者を、第一段階選抜の合格者とする。

科目	国語	地歴	公民	数学 (1)	数学 (2)	理科	外国語		合計
	国	世B、 日B、 地理B	現社、倫理、 政治・経済、 倫・政経	数Ⅰ、 数Ⅰ・ 数A	数Ⅱ、 数Ⅱ・ 数B	物理基礎、 化学基礎、 生物基礎、 地理基礎、 物理、 化学、 生物	英、 独、 仏、 中、 韓	リスニング (英)	
配点	200	100		100			200	50	650
独自の 配点	50	25		25			200		300

※ TOEFL iBT 61点以上、TOEFL PBT 500点以上、TOEFL Junior Comprehensive341点以上、TOEIC 730点以上又は実用英語技能検定(英検)準1級以上、IELTS 5.5以上、GTEC for STUDENTS 700点以上又はGTEC CBT 1040点以上の者は、センター試験の外国語の得点を満点として採点する。

- 個別学力検査
 - オランダ特別コース 360点
 - オランダ特別コース以外 300点

	科目	外国語	批判的・論理的思考 力テスト (総合問題)	面接	合計
		コ英Ⅰ・コ英Ⅱ・コ英Ⅲ・ 英表Ⅰ・英表Ⅱ			
オランダ特別コース	配点	100	200	60	360
オランダ特別コース以外		100	200	—	300

2. 後期日程

● センター試験(3教科3科目)300点

外国語の得点率が85%以上の者を、第一段階選抜の合格者とする。

科目	国語	地歴	公民	外国語		合計
	国	世B、 日B、 地理B	現社、倫理、 政治・経済、 倫・政経	英、独、仏、 中、韓	リスニング (英)	
配点	200	100		200	50	550
独自の配点	50	50		200		300

※ TOEFL iBT 61点以上、TOEFL PBT 500点以上、TOEFL Junior Comprehensive341点以上、TOEIC 730点以上又は実用英語技能検定(英検)準1級以上、IELTS 5.5以上、GTEC for STUDENTS 700点以上又はGTEC CBT 1040点以上の者は、センター試験の外国語の得点を満点として採点する。

● 個別学力検査 300点

科目	小論文	面接	合計
配点	250	50	300

朱書き部分は、平成27年度入試から変更点となります。

入試結果(1)

前期日程

大阪	(外国語－英語)	65.0
	(外国語－日本語)	62.5
神戸	(文－人文)	60.0
神戸市外国語	(外国語－イスパニア)	62.5
長崎	(多文化社会－多文化社会)	55.0
名古屋	(文－人文)	60.0
名古屋市立	(人文社会－国際文化)	57.5
大阪	(外国語－ドイツ語)	65.0
	(外国語－フランス語)	65.0
神戸	(国際文化－国際文化)	62.5
神戸市外国語	(外国語－ロシア)	62.5
	(外国語－中国)	60.0
大阪	(外国語－スウェーデン語)	62.5
	(外国語－イタリア語)	65.0
	(外国語－スペイン語)	65.0
神戸	(発達科学－人間形成)	62.5
北九州市立	(外国語－英米)	57.5
九州	(教育)	60.0
長崎	(多文化社会－多文化－オランダ特別)	52.5

後期日程

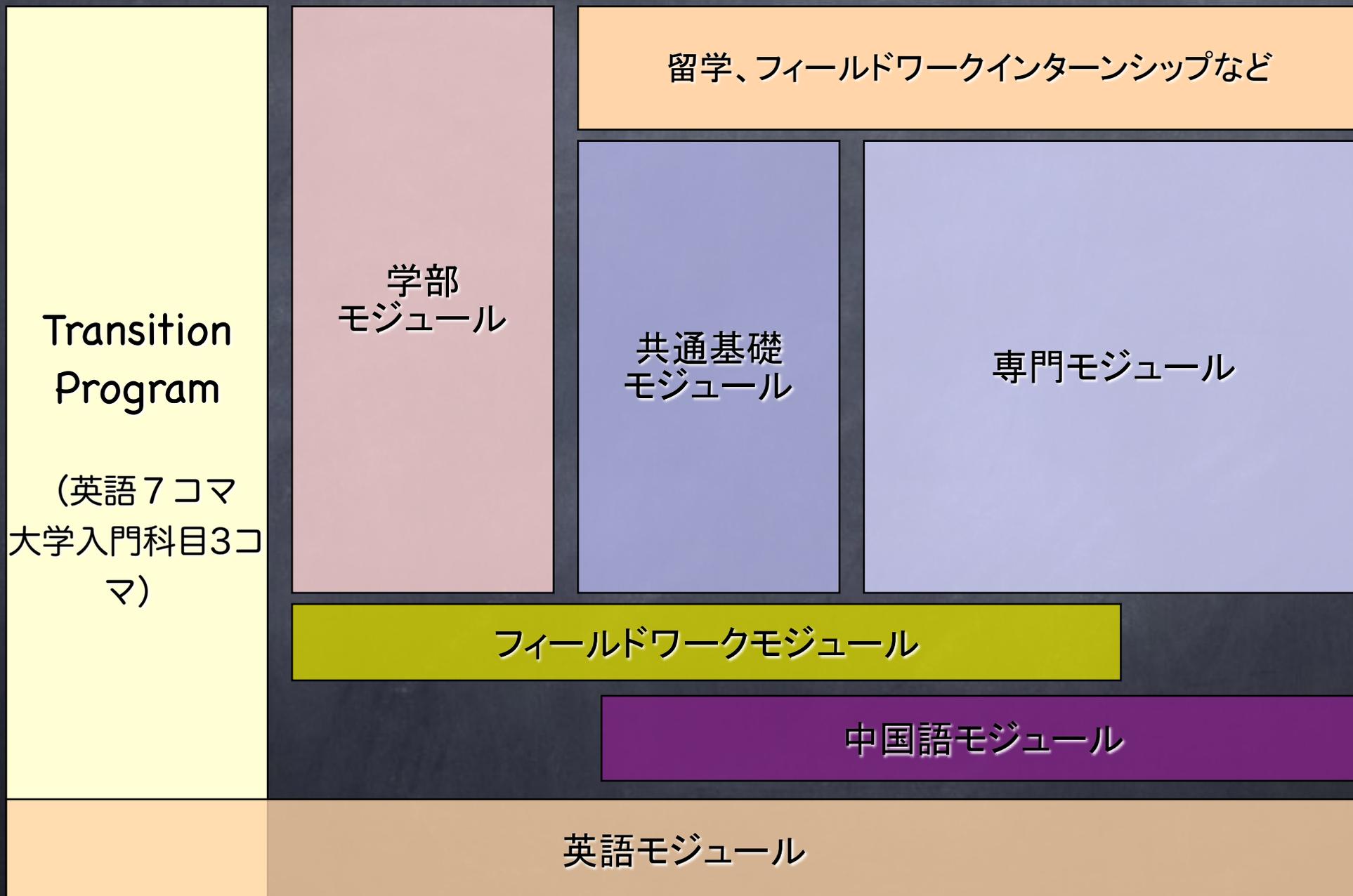
京都府立	(文－欧米言語文化)	62.5
大阪	(文－人文)	
	(外国語－ドイツ語)	65.0
神戸	(文－人文)	65.0
大阪	(外国語－スウェーデン語)	65.0
	(外国語－スペイン語)	67.5
神戸	(発達科学－人間形成)	
名古屋市立	(人文社会－国際文化)	
大阪	(外国語－中国語)	65.0
	(外国語－ロシア語)	65.0
	(外国語－ハンガリー語)	65.0
	(外国語－ポルトガル語)	65.0
	(外国語－日本語)	65.0
大阪市立	(文)	
神戸市外国語	(外国語－イスパニア)	
大阪	(外国語－デンマーク語)	65.0
九州	(文－人文)	
長崎	(多文化社会－多文化社会)	
金沢	(人間社会－人文)	
愛知県立	(外国語－英米)	
大阪	(外国語－朝鮮語)	65.0
	(外国語－インドネシア語)	65.0
	(外国語－ベトナム語)	65.0
	(外国語－アラビア語)	65.0
	(外国語－トルコ語)	65.0
神戸	(国際文化－国際文化)	65.0
神戸市外国語	(外国語－ロシア)	
	(外国語－中国)	

データ：河合塾26年
度難易度（国公立・
西日本）

入試結果(2)

- 入学者の基礎学力レベルという観点からは当初の目標を十分に達成した。
- 学生の出身地分布も地方国立大学としては分散が大きく、全国から学生が集まった。
- 他方で、一年目から定員割れを起こし、26年度99名、27年度78名の入学者しか迎えることができなかった。

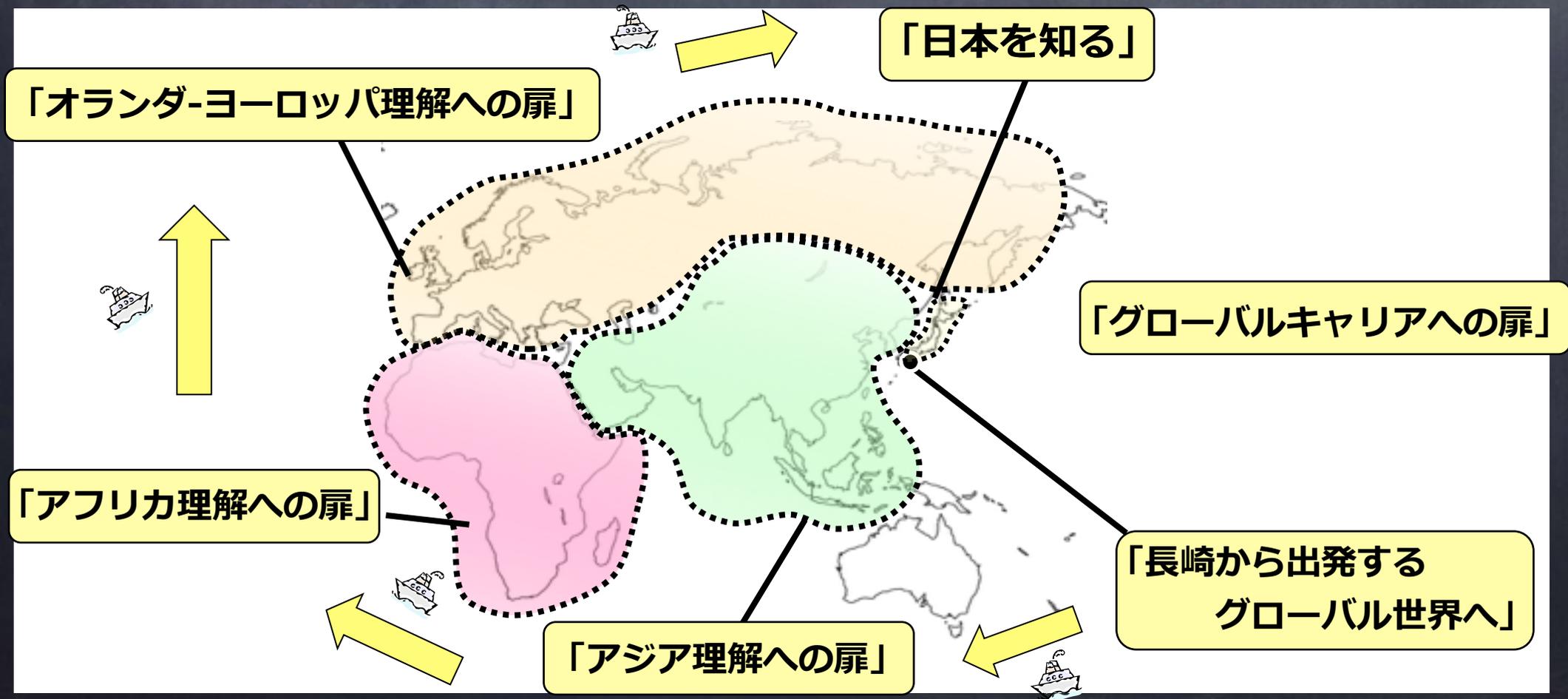
← 1年次 → ← 2~4年次 →



〈学部モジュール〉 1年次 「多文化社会の諸問題(6科目)」

この学部の学習において、知るべき場所と問題の理解に導くモジュール

- ✓長崎を基軸とし、アジア、アフリカ、ヨーロッパ、そして日本の社会文化状況を理解する
- ✓多文化社会学部のカリキュラムへの導入としての位置づけ
- ✓すべての科目に複数の教員が参画する



知識・考える力

共通基礎モジュール(2年次)

グローバル社会のしくみ

- ・多文化のなかのルール(英語)
- ・多文化社会のガバナンス(英語)
- ・文化のなかのエコノミー(英語)
- ・地域をこえるマネジメント
- ・ジェンダーと人権
- ・紛争と平和(英語)

社会を映し出す文化、文化が作り出す社会

- ・文化は社会の鏡なのか(一部英語)
- ・越境する文化
- ・出来事と表象のあいだ
- ・人間観とコスモロジー
- ・他者と生きる技法
- ・日本の中の世界、世界の中の日本

多言語を学ぶ、多言語で学ぶ

- ・英語からたどる文化(英語)
- ・日本語からたどる文化
- ・中国語からたどる文化
- ・アジア諸言語からたどる文化
- ・ヨーロッパ諸言語からたどる文化(一部英語)
- ・アフリカ諸言語からたどる文化

✓2年次開講の基礎科目群

✓専門科目を学ぶための基礎科目として位置づけ

✓半数以上の科目を英語で、もしくは複数言語で開講

※ 3つの内2つのモジュールを主及び副モジュールとして選択します。選び方によって、3年次以降の3コースの選択が決まります。

知識・考える力

専門コース(3~4年次)

グローバル社会コース	社会動態コース	共生文化コース	オランダ特別コース
国際機構論 (英語)	異文化理解教育 (英語)	日本思想史	オランダ語I
軍縮と平和 (英語)	トランスナショナリティ論	中国思想史	オランダ語II
国際法 (英語)	異文化と家族	宗教文化論	オランダ語III
国際政治学 (英語)	グローバル社会学 (一部英語)	文化表象論	オランダ現代社会論 (英語)
比較政治 (英語)	現代アフリカ社会論 (英語)	記憶文化論	オランダ文化論 (英語)
国際経営 (英語)	現代アジア社会論	地域文化論	日蘭比較文化
国際開発論 (英語)	アジア海域交流史	メディア文化論 (英語)	日蘭交流史
国際人権論 (英語)	グローバル文化交流史 (一部英語)	現代言語理論	
グローバル人口学 (英語)	社会史	異文化間コミュニケーション (英語)	
国際協力論 (英語)	異文化交流論	対照言語学	
アジア経済論 (英語)	文化資源論	日本語学	
多文化マーケティング論 (英語)	地域生態論 (英語)	コーパス言語学 (英語)	

※ 青字は英語開講 緑字は一部外国語

海外での実務経験と調査経験を持つ教員を多数配置

多彩な専門と国籍、そして多言語での教育研究実践が可能な教員団 約40名

約30%の教員が外国籍

約50%の授業を英語で実施可能

アクティブラーニングの位置づけ

- 設置計画書作成の段階からアクティブラーニングをカリキュラムの特徴として強調した。

学部教育では [……] いずれの授業科目においてもアクティブ・ラーニングを実施する（カリキュラムポリシー）。

本学部の学士課程教育は、アクティブ・ラーニングを全面的に導入し、学生自身の主体的で旺盛な自学自習を不可欠の前提としている。

[……] クラス規模や授業形態に応じたアクティブ・ラーニング方式の授業を積極的に導入し、 [……]

設置計画書本文の中に11回も「アクティブ（ラーニング）」という言葉が使われている・・・

アクティブラーニング導入の準備

- 学部設置前の平成25年度後半に新規採用予定者を含めた教員研修を2度にわたって実施。
- 2度目の教員研修において学内の大学教育イノベーションセンター・教育改善部門の教員を講師として、ワークショップ「アクティブラーニングを取り入れた授業」を開催。
- 「教員→学生」の説教型ではなく、「学生↔学生」、「学生→教員」といったコミュニケーションの形が組み込まれていれば、すべてアクティブラーニングであると見なすことを確認。

アクティブラーニングの事例

科目：オランダ-ヨーロッパ理解への扉（1年後期・必修）

- ねらい：オランダを「窓」として、近代世界の枠組みを作り、現在、壮大な社会実験のただ中にあるヨーロッパという地域について概観することで、ヨーロッパ研究のための基本視角を身につける。
- 4人の担当教員によるオムニバス授業
- 前半はオランダを軸に近世から現代までの西洋史概説
- 後半は現代のヨーロッパについて「EUと非EU」、「大国と小国」、「多文化・多言語・移民」を視点に概説

アクティブラーニングの事例

第12回：非EU国の戦略：スイス事例として（葉柳）

- ねらい：EUの主要国に囲繞されながら、国民の意思としてEU非加盟を続ける小国スイスを通して、「ヨーロッパ=EU」とはならない理由を探る。

1. スイスの概要（歴史、地理、言語、文化、政治）

2. 事例：『アルプスの少女ハイジ』

3. スイスの国民統合

4. 精神的国土防衛

5. EU非加盟の理由

スイスに関する基礎知識

1. スイスの正式名称は「
」
である。



リュトリの丘
1291年8月1日、3つの
州が、自由と自治を守る
ため誓約者同盟を結成。
これがスイスの起源である。
ウイリアム・テルの伝
説もここから発生。



2. スイスの首都は「
」である。

スイスの聖地リュトリの丘は普段は牧場として使われていた！

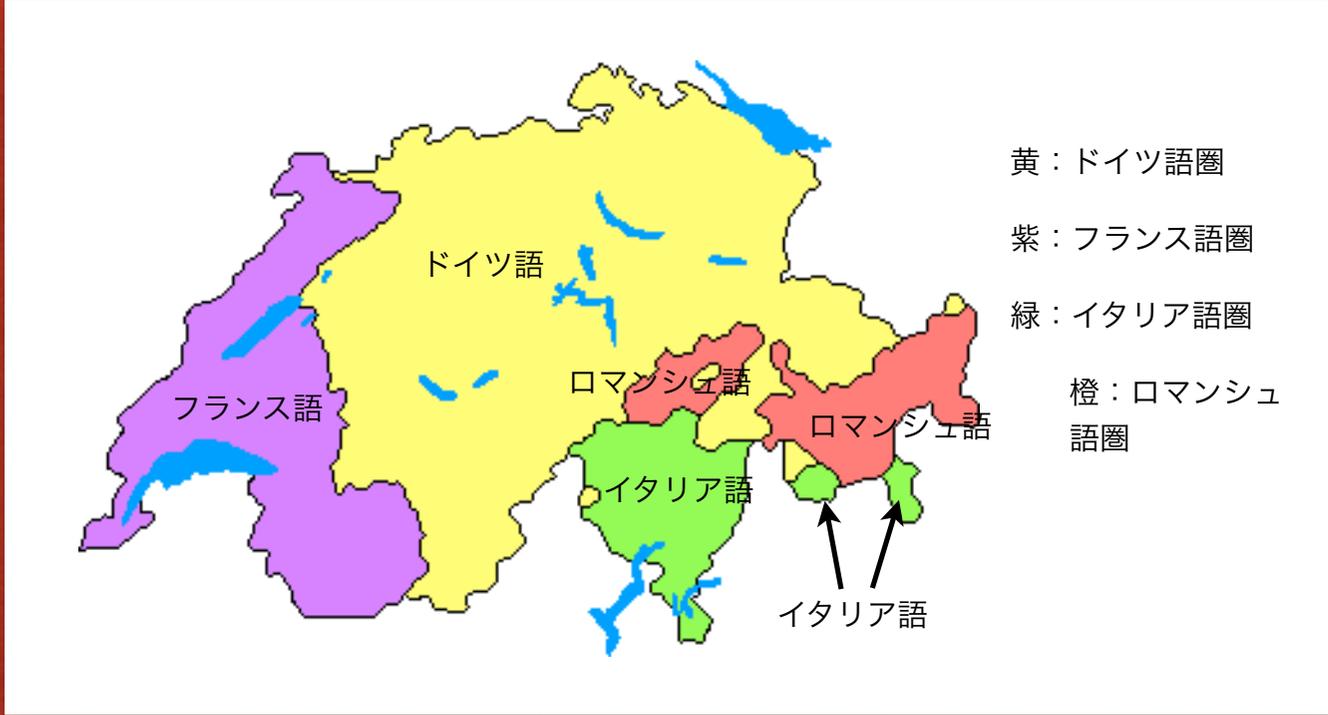
建国記念日(8月1日)には
式典が開かれる



10. スイスの国語は「ドイツ語」、
 「フランス語」、「イタリア語」、そして
 「ロマンシュ語」である。

スイスの言語話者

ドイツ語	64%
フランス語	19%
イタリア語	8%
ロマンシュ語	0.5%
その他	8.5%



14. スイスの政治体制は、国際的には「
「
」」、国内的には「
」
の「
」」である。



人口の少ない地域では選挙権を持った市民が、今でも街角や広場に集まって、提案された議題について議論し、投票する。
写真は、スイスで最も小さな州、アッペンツェル・インナーロデンでの投票風景（2010年6月）。

15. スイスが国連に加盟したのは「
年」である。

21世紀最初の国連加盟国！

16. 2001年のEU加盟の早期交渉開始を求め
る国民投票を行った。その結果は、
「**55%**」の反対により「**否**」で

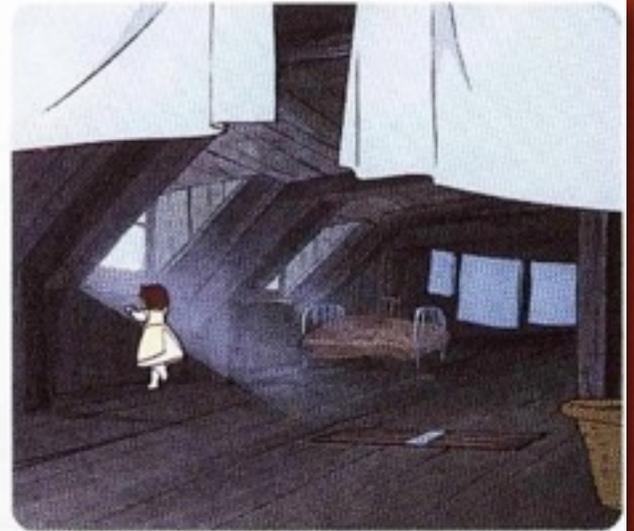


ヨーロッパ統合の動き
の中で、永世中立国スイス
は、EU非加盟の道を選択し、
「最もヨーロッパ的なヨーロッ
パ連合非加盟国」となってい
る。





「ああ、この お花の
なかを、あんなふう
はしたらら どん
すてきかしら！」
いま クララは
はじめて、自分で
あるきたいと、つよく
おもうのでした。



アクティブラーニングの事例

GW課題①：『アルプスの少女ハイジ』のフランクフルト篇とアルプス篇を比較して、両者の間にどのような対立ないし対照の構造があるかについて話し合い、その結果をまとめてください。

GW課題②：原作がスイスで出版されたときのヨーロッパ状況について、知っていることを出し合って、まとめてください。

GW課題③：『アルプスの少女ハイジ』は物語全体としてどのようなメッセージを読者に送っているのか、①と②の結果をふまえて、まとめてください。

- ・ 学生を4人から5人のグループに分け、話し合いをさせる。
- ・ 結果を簡単に代表者に報告させる。
- ・ 報告を授業後半の論点に組み込む。

『ハイジ』における対立の構造

● フランクフルト ⇔ アルムの山

● 病気 ⇔ 健康

● 人工 ⇔ 自然

● 疎外 ⇔ 解放

ドイツ ⇔ スイス

『ハイジ』と国民国家(3)

- 中立と独立を守りたいスイス人の意識の中に、ドイツとの対比においてスイスの固有性を明確にしたいという願望が生


病・人工・疎外

健康・自然・解放
- 世界的成功を収めた少女小説『ハイジ』における「ドイツ VS スイス」という図式は、スイスのナショナルアイデンティティの確立にとってプラスに作用

アクティブラーニングの事例

宿題：ヨーロッパに位置しながらEUに加盟していない国を2つ選び（スイスは除く）、それらの国がEUに参加しない、あるいはできない理由をまとめてください。それぞれの国に関して最低でも600字程度は論述することを目標としましょう。

書籍、新聞、インターネット等どのような媒体を使用してもよいが、引用に際しては、教養ゼミナールで習った引用の方法を遵守すること。

- ・ 90分の授業に対して、180分の自宅学習を行う。
- ・ 次の回の授業（「ドイツの移民問題」）の際に簡単なフィードバックを行う。

問題となる点

- 通常の授業に比べて情報量が少なくなる。
- グループワークと報告にあてる時間を十分に取れない。
- 計画した時間配分通りに進まない。

改善した点

- 中だるみの時間がほぼなくなる。
- 学生たちの授業に対する姿勢、特に授業中のリアクションは確実に前向きになる。
- 自分の考えと他者の考えの共通点と相違点を常に意識することができるようになる。

ご清聴ありがとうございました